

いのち

まもろう！ **小さな命**

つなごう！ **いのちの縁**

えん

7月13日

生命尊重の日



お腹の赤ちゃんとお母さんを温かく迎えるまちづくりへ！

記念講演

〔講師〕

末盛千枝子

皇后様のご講演録『橋をかける』編集者



〔演題〕

すべての命を受け入れて生きる

3/24(土)

10:00～15:30

(9:30～受付)

AP市ヶ谷6F
Cルーム

(JR市ヶ谷駅 徒歩1分)

7月13日を わが町の「生命尊重の日」に！

「いのちをつなごう」

宮田修氏 (千葉熊野神社宮司)



(激励メッセージに会場！)

金美齡氏 (評論家)

山谷えり子氏 (参議院議員) 他



★参加費 3,500 円 (資料代・昼食代)

★申込締切 3/10 (土)

(お問い合わせ) 生命尊重センター Tel: 03-3239-0239

FAX 参加申込書

FAX03-3556-5075

お名前

御住所 〒

TEL

ごあんない

小さな灯から始まった生命尊重運動は、お蔭をもちまして35年目を迎えます。これまで、生命尊重の啓発運動を展開すると共に、円ブリオ基金で国民の皆様からひと口1円の基金を集め、666名もの赤ちゃん誕生を支えることができました。

そして、これまでの運動の積み重ねから、昨年6月には、日本で初めて石川県加賀市に“お腹の赤ちゃんを大切にする「生命尊重の日」条例”が制定されました。加賀市はすでに胎児一人に、妊娠16週から出産準備手当が給付されていましたが、さらに妊婦健診費が15回まで助成されるなど、ますます産みやすい環境づくりが進められています。また7月13日には市の主催でお腹の赤ちゃんを大切にする啓発講演会も開催されました。

しかし、全国的に乳幼児待事件はじめ、生命軽視の風潮はとどまることを知りません。私達は、全国に生命尊重の大啓発のうねりを起こしていくと共に、家庭・学校・地域で生命の尊さについて考える「生命尊重の日」実現をめざし、H30年度生命尊重全国研修会を開催いたします。一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【主な内容】

記念講演

すべての命を受け入れて生きる

皇后さまのご著書『橋をかける』編集者

末盛千枝子氏

【講師プロフィール】

1941年東京生まれ。父は彫刻家の舟越保武で、高村光太郎によって「千枝子」と名付けられる。最初に出版した絵本『あさ One morning』(G.C.PRESS刊行)で、1986年にボローニャ国際児童図書展グランプリを受賞、ニューヨーク・タイムズ年間最優秀絵本にも選ばれた。1988年に株式会社すえもりブックスを立ち上げ、独立。まど・みちおの詩を皇后様が選・英訳された『どうぶつたち THE ANIMALS』や、皇后様のご講演をまとめた『橋をかける 子供時代の読書の思い出』など多くの反響を呼び、話題作を次々に出版。2002年から2006年まで、国際児童図書評議会(IBBY)の国際理事を務め、2014年には名誉会員にも選ばれた。2010年から岩手県八幡平市に移住し、その地で東日本大震災に遭う。現在は、被災した子どもたちに絵本を届ける「3.11絵本プロジェクトいわて」の代表を務めている。

H30年度活動指針提起&全国活動交流

全国北から南から、“母と子のいのちを守る”
仲間達でつなぐ生命尊重活動。

7月13日をわが町の「生命尊重の日」に！
キャンペーン！



(大村)



(旭川)



(埼玉)

赤ちゃんを救おう
円ブリオ基金



(島根)

未来の子ども達に
生命尊重教育を！

「生命尊重ニュース」



(宮崎のfacebookより)